

行政評価（継続事業）

第5編第4章 地域特性を生かした農林水産業を振興する

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由							
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度										19年度	20年度					
1	助成・育成	農業担い手育成対策事業	経済局 農政総務課	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】生産技術や経営能力に優れた農業担い手・農業後継者の育成を図るための支援を行う。 高齢・兼業農家等を含めた多くの農家が参加できる集落営農を育成するため、集落営農育成活動を総合的に支援する。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・市農業青年クラブへの活動助成 500千円 ・集落営農育成のための研修会・検討会の開催 ・集落営農活動に向けた話し合い活動の促進	市単	[概算コスト] 7,774 (内訳) ・決算額 2,680 ・人件費 5,094 (1.20人)	[概算コスト] 8,241 (内訳) ・決算額 3,147 ・人件費 5,094 (1.20人)	[概算コスト] 5,929 (内訳) ・決算額 709 ・人件費 5,220 (1.20人)	[概算コスト] 6,244 (内訳) ・決算額 1,091 ・人件費 5,153 (1.20人)	研修会開催回数 (単位:回)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	市農業青年クラブ員数 (単位:名)	[目標値] 50 [実績値] 54 <達成率> 108.0%	[目標値] 55 [実績値] 52 <達成率> 94.5%	[目標値] 55 [実績値] 52 <達成率> 94.5%	[目標値] 55 [実績値] 52 <達成率> 94.5%	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 将来の本市の農業の未来を担う青年及び新たな担い手の確保育成を行うため必要な事業である。
2	助成・育成	新規就農者支援対策事業	経済局 農政総務課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】新規就農者の育成と農村地域の活性化を図るため、就農者の新規導入に必要な支援事業を実施し、次代を担う新規就農者を育成する。 【対象者】新規就農者・新規就農希望者 【具体的な活動内容】 ・就農相談窓口の設置、新規就農支援パンフレットの作成、県内外就農相談会への参加 ・就農準備講座の開催 ・施設整備にかかる経費の助成 補助率3/4 ・就農支援資金償還助成 補助率 県1/3、市1/3	県補助	[概算コスト] 11,322 (内訳) ・決算額 5,379 ・人件費 5,943 (1.40人)	[概算コスト] 7,571 (内訳) ・決算額 1,628 ・人件費 5,943 (1.40人)	[概算コスト] 10,028 (内訳) ・決算額 3,938 ・人件費 6,090 (1.40人)	[概算コスト] 11,092 (内訳) ・決算額 5,080 ・人件費 6,012 (1.40人)	相談会の開催回数 (単位:回)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	新規就農者数 (単位:名)	[目標値] 10 [実績値] 12 <達成率> 120.0%	[目標値] 10 [実績値] 8 <達成率> 80.0%	[目標値] 10 [実績値] 14 <達成率> 140.0%	[目標値] 10 [実績値] 14 <達成率> 140.0%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 新規就農者の育成と農村地域の活性化を図るために必要な事業である。	
3	助成・育成	高齢者等肉用牛導入事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】基金により、市内に居住する満60歳以上の高齢者に肉用牛を5年間無利子で貸し付け、高齢者の生きがい対策と肉用雌牛資源の確保を図る。 【対象者】満60歳以上の農業者 【具体的な活動内容】基金を利用して購入した肉用牛を、5年間無利子で貸し付ける。	市単	[概算コスト] 874 (内訳) ・決算額 25 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 874 (内訳) ・決算額 25 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 900 (内訳) ・決算額 30 ・人件費 870 (0.20人)	[概算コスト] 929 (内訳) ・決算額 70 ・人件費 859 (0.20人)	貸付頭数 (単位:頭)	[目標値] 25 [実績値] 14 <達成率> 56.0%	[目標値] 25 [実績値] 10 <達成率> 40.0%	[目標値] 25 [実績値] 24 <達成率> 96.0%	[目標値] 25 [実績値] 24 <達成率> 96.0%	貸付牛による子牛の生産頭数 (単位:頭)	[目標値] 56 [実績値] 68 <達成率> 121.4%	[目標値] 72 [実績値] 66 <達成率> 91.7%	[目標値] 74 [実績値] 68 <達成率> 91.9%	[目標値] 70 [実績値] 68 <達成率> 97.1%	△	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 肉用牛資源の確保及び高齢者の生きがいづくりを図るために必要な事業である。	
4	助成・育成	農産物生産者団体育成事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和54年度 【概要】本市の農産物の生産者で組織している生産団体への活動助成 【対象者】鹿児島市野菜振興連絡協議会、鹿児島市果樹部会連絡協議会、鹿児島市花き振興連絡協議会、鹿児島市鉢物園芸振興連絡協議会、鹿児島市木市振興会、鹿児島市茶業振興会、鹿児島市茶たばこ振興会、鹿児島市茶手もみ保存会(計8団体) 【具体的な活動内容】野菜、花き、果樹、茶等の農業者団体による研修事業等にかかる経費を助成する。 補助率1/3以内	市単	[概算コスト] 3,674 (内訳) ・決算額 3,547 ・人件費 127 (0.03人)	[概算コスト] 3,711 (内訳) ・決算額 3,584 ・人件費 127 (0.03人)	[概算コスト] 4,051 (内訳) ・決算額 3,920 ・人件費 131 (0.03人)	[概算コスト] 4,199 (内訳) ・決算額 4,070 ・人件費 129 (0.03人)	団体数 (単位:団体)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	研修会の参加人員 (単位:人)	[目標値] 1,208 [実績値] 1,559 <達成率> 129.1%	[目標値] 1,048 [実績値] 1,427 <達成率> 136.2%	[目標値] 1,035 [実績値] 1,572 <達成率> 151.9%	[目標値] 1,071 [実績値] 1,572 <達成率> 151.9%	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 各農産物生産者団体の支援を通して、農産物生産技術や販売技術の向上及び経営改善が図られることから、必要な事業である。	
5	助成・育成	生活改善組織活動推進事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】農村女性の活動に対して支援を行い、農村地域でのよりよい生活と地域づくりの方法等について情報交換し、研究改善するとともに、生産した農産物の有効利用を図ることで、豊かな農村生活の実現を図る。 【対象者】農村女性 【具体的な活動内容】 ・生活改善協力員の設置 6名 ・鹿児島市生活研究グループ連絡協議会への活動助成 800千円、補助率1/2以内	市単	[概算コスト] 3,366 (内訳) ・決算額 2,008 ・人件費 1,358 (0.32人)	[概算コスト] 3,355 (内訳) ・決算額 1,997 ・人件費 1,358 (0.32人)	[概算コスト] 2,993 (内訳) ・決算額 1,601 ・人件費 1,392 (0.32人)	[概算コスト] 2,975 (内訳) ・決算額 1,601 ・人件費 1,374 (0.32人)	研修会回数 (単位:回)	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	研修会参加人員 (単位:人)	[目標値] 500 [実績値] 489 <達成率> 97.8%	[目標値] 460 [実績値] 454 <達成率> 98.7%	[目標値] 455 [実績値] 446 <達成率> 98.0%	[目標値] 430 [実績値] 446 <達成率> 98.0%	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 農村地域でのよりよい生活と地域づくりの方法等を情報交換するグループの活動に支援することは、農村地域の活性化等のため必要な事業である。	
6	助成・育成	畜産団体育成事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】本市畜産の推進母体である畜産連絡協議会の団体の活動や農家相互の連携を支援し、本市畜産振興を促進する。 【対象者】畜産団体 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市畜産連絡協議会の活動経費に対する助成 3,430千円、補助率1/3以内	市単	[概算コスト] 5,128 (内訳) ・決算額 3,430 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 5,128 (内訳) ・決算額 3,430 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 5,170 (内訳) ・決算額 3,430 ・人件費 1,740 (0.40人)	[概算コスト] 5,148 (内訳) ・決算額 3,430 ・人件費 1,718 (0.40人)	団体数 (単位:団体)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	団体の削除実施頭数 (単位:頭)	[目標値] 2,450 [実績値] 6,247 <達成率> 255.0%	[目標値] 2,450 [実績値] 5,254 <達成率> 214.4%	[目標値] 5,500 [実績値] 9,306 <達成率> 169.2%	[目標値] 6,000 [実績値] 9,306 <達成率> 169.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 対象団体は本市畜産農家の大半が加入する団体であり、技術の研修活動など本市畜産振興に大きな役割を果たしているため必要な事業である。	
7	助成・育成	水田農業構造改革対策事業	経済局 農政総務課	○事業開始年度 昭和45年度 【概要】価格、販売動向等を踏まえた需要に応じた米の計画的生産の推進及び水田を活用した地域振興作物等の産地化の推進 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・集落、農業者への生産調整対象水田面積の提示 ・生産調整対象水田面積の調整事務 ・水稲作付水田の確認事務 ・生産調整申込面積の集計・電算入力事務 ・農協地区ごとの説明会、集落座談会の開催	県補助	[概算コスト] 14,739 (内訳) ・決算額 4,551 ・人件費 10,188 (2.40人)	[概算コスト] 14,050 (内訳) ・決算額 3,862 ・人件費 10,188 (2.40人)	[概算コスト] 13,802 (内訳) ・決算額 3,362 ・人件費 10,440 (2.40人)	[概算コスト] 13,710 (内訳) ・決算額 3,404 ・人件費 10,306 (2.40人)	地域説明会開催回数 (単位:回)	[目標値] 18 [実績値] 18 <達成率> 100.0%	[目標値] 18 [実績値] 18 <達成率> 100.0%	[目標値] 17 [実績値] 17 <達成率> 100.0%	[目標値] 17 [実績値] 17 <達成率> 100.0%	水稲作付面積 (単位:ha)	[目標値] 1,237 [実績値] 988 <達成率> 125.2%	[目標値] 1,004 [実績値] 948 <達成率> 105.9%	[目標値] 960 [実績値] 905 <達成率> 106.1%	[目標値] 949 [実績値] 905 <達成率> 106.1%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 需要に応じた米づくりの推進及び水田農業経営の安定と発展を図るために必要な事業である。	

行政評価（継続事業）

第5編第4章 地域特性を生かした農林水産業を振興する

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度 指標の達成状況	妥当性 指標の目標水準	効率性 市の関与	有効性 事業の必要性	有効性 事業手法	有効性 事業の統合	有効性 コスト削減の工夫	有効性 成果向上への見直し	有効性 施策効果	有効性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由				
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度														19年度	20年度		
8	助成・育成	遊休農地解消等対策事業	経済局 農政総務課	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】遊休農地の現状把握に努め、耕作放棄地の発生を予防し、遊休農地の解消を図る。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・遊休農地の現状把握及び所有者への意向調査、遊休農地の活用計画の策定 ・遊休農地の復元に要する経費に対する助成(桜島地域のみ) 補助率3/4以内 ・認定農業者への農地の貸し借りに対する助成	市単	[概算コスト] 8,664 (内訳) ・決算額 3,145 ・人件費 5,519 (1.30人)	[概算コスト] 8,717 (内訳) ・決算額 3,198 ・人件費 5,519 (1.30人)	[概算コスト] 16,427 (内訳) ・決算額 10,772 ・人件費 5,655 (1.30人)	[概算コスト] 9,289 (内訳) ・決算額 3,707 ・人件費 5,582 (1.30人)	関係機関との検討会の開催 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 2 達成率 66.7%	[目標値] 3 [実績値] 5 達成率 166.7%	[目標値] 7 [実績値] 9 達成率 131.8%	農地流動化対策事業実施面積 (単位:ha) [実績値] 10 達成率 416.0%	[目標値] 3 [実績値] 10 達成率 416.0%	[目標値] 7 [実績値] 9 達成率 131.8%	[目標値] 7 [実績値] 9 達成率 131.8%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 遊休農地の現状を把握するとともに認定農業者への農地流動化を進めることは、農地の遊休化を防ぎ、農地の有効利用を図るため必要である。
9	社会基盤・都市施設基盤	農業・農村活性化推進施設等整備事業	経済局 農地整備課	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】国の補助事業の対象とならない小規模な施設について、県の補助により生産基盤と生活環境施設等の総合的な整備を進め、魅力ある農村空間の創造を通じて「活力あふれた、たくましい農業・農村」の建設に資するものである。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】農道、水路、ほ場整備、暗渠排水等の整備を行う。県補助率45%	県補助	[概算コスト] 72,919 (内訳) ・決算額 67,400 ・人件費 5,519 (1.30人)	[概算コスト] 37,932 (内訳) ・決算額 35,300 ・人件費 2,632 (0.62人)	[概算コスト] 5,382 (内訳) ・決算額 5,000 ・人件費 382 (0.09人)	[概算コスト] 7,094 (内訳) ・決算額 6,500 ・人件費 594 (0.14人)	整備箇所数 (単位:箇所)	[目標値] 7 [実績値] 7 達成率 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 達成率 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 達成率 100.0%	農道整備の事業量 (単位:m) [実績値] 95 達成率 100.0%	[目標値] 95 [実績値] 95 達成率 100.0%	[目標値] 125 [実績値] 125 達成率 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 達成率 0.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 農業生産性の向上及び農業地域の生活環境の改善、農地の保全等を実現するために必要な事業である。	
10	社会基盤・都市施設基盤	団体営土地改良事業	経済局 農地整備課 谷山農林事務所	○事業開始年度 平成17年度 【概要】農村地域の健全な発展に資するため、生産基盤及び生活環境の整備を総合的に推進し、地域の特性を生かした活力ある農村地域づくりを進める。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】農村振興基本計画に基づき、各地域の多様なニーズに応じた整備を総合的に実施する。 ・村づくり交付金事業(西部第一地区、南部地区、吉野地区) 補助率 国50%、県16~18%(事務費を除く) ・中山間地域総合整備事業(東桜島地区) 補助率 国50~55%、県15%(事務費を除く)	国・県補助	[概算コスト] 196,700 (内訳) ・決算額 181,800 ・人件費 14,900 (3.51人)	[概算コスト] 212,021 (内訳) ・決算額 197,376 ・人件費 14,645 (3.45人)	[概算コスト] 321,096 (内訳) ・決算額 299,404 ・人件費 21,692 (5.11人)	[概算コスト] 298,043 (内訳) ・決算額 272,700 ・人件費 25,343 (5.97人)	整備地区数 (単位:地区)	[目標値] 2 [実績値] 2 達成率 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 達成率 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	ほ場整備の事業量 (単位:ha) [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 2.2 [実績値] 2.2 達成率 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 達成率 0.0%	[目標値] 4.3 [実績値] 4.3 達成率 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 対象地域における生活環境を充実させ、生産性の高い集約的な農業の振興を図るために必要な事業である。		
11	社会基盤・都市施設基盤	市単独土地改良事業	経済局 農地整備課 谷山農林事務所 生産流通課	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】国・県の補助事業を導入できない地区の農道、排水水路等について緊急度、重要度、経済効果等の高いものから整備改良を実施する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】地元から申請のあったものについて現地調査のうえ、市単独農業用施設整備基準等に関する要綱に基づいて実施する。	市単	[概算コスト] 740,830 (内訳) ・決算額 684,669 ・人件費 56,161 (13.23人)	[概算コスト] 748,218 (内訳) ・決算額 696,471 ・人件費 51,747 (12.19人)	[概算コスト] 662,653 (内訳) ・決算額 617,868 ・人件費 44,785 (10.55人)	[概算コスト] 657,839 (内訳) ・決算額 601,932 ・人件費 55,907 (13.17人)	整備箇所数 (単位:箇所)	[目標値] 103 [実績値] 103 達成率 100.0%	[目標値] 106 [実績値] 106 達成率 100.0%	[目標値] 92 [実績値] 92 達成率 100.0%	[目標値] 115 [実績値] 115 達成率 100.0%	農道整備の事業量 (単位:m) [実績値] 9,119 達成率 100.0%	[目標値] 9,119 [実績値] 9,119 達成率 100.0%	[目標値] 10,059 [実績値] 10,059 達成率 100.0%	[目標値] 6,394 [実績値] 6,394 達成率 100.0%	[目標値] 4,197 [実績値] 4,197 達成率 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 対象地域における生活環境を充実させ、生産性の高い集約的な農業の振興を図るために必要な事業である。		
12	社会基盤・都市施設基盤	農業用施設等災害復旧事業	経済局 農地整備課 谷山農林事務所 生産流通課	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】農地、農業用施設の暴風、洪水、高潮、地すべり、地震、その他異常な天然現象(降灰等)による災害の復旧を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】災害を受けた農地、農業用施設の復旧工事。国の補助対象とならない箇所は、市の単独事業として農道、水路、農地等の復旧を行う。国庫補助率 50~65%	国補助	[概算コスト] 92,710 (内訳) ・決算額 85,663 ・人件費 7,047 (1.66人)	[概算コスト] 281,379 (内訳) ・決算額 261,937 ・人件費 19,442 (4.58人)	[概算コスト] 349,452 (内訳) ・決算額 325,807 ・人件費 23,645 (5.57人)	[概算コスト] 79,792 (内訳) ・決算額 73,000 ・人件費 6,792 (1.60人)	整備箇所数 (単位:箇所)	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	[目標値] 35 [実績値] 35 達成率 100.0%	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	防災営農の確立 (単位:箇所)	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	[目標値] 29 [実績値] 29 達成率 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 災害を受けた農地、農業用施設について、迅速かつ適切な復旧を行い、農家の経営安定及び国土保全を図るために必要な事業である。
13	その他	都市農業センター受胎卵移植事業	経済局 都市農業センター	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】受胎卵移植技術を活用し、肉用牛、乳用牛の資質改善による優良系統の確保を図る。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・優れた受胎卵を得るための供卵牛の導入 ・供卵牛より受胎卵の採卵 ・他の雌牛への受胎卵の移植	市単	[概算コスト] 17,232 (内訳) ・決算額 8,742 ・人件費 8,490 (2.00人)	[概算コスト] 17,643 (内訳) ・決算額 9,153 ・人件費 8,490 (2.00人)	[概算コスト] 18,237 (内訳) ・決算額 9,537 ・人件費 8,700 (2.00人)	[概算コスト] 19,707 (内訳) ・決算額 11,119 ・人件費 8,588 (2.00人)	受胎卵を移植した頭数 (単位:頭)	[目標値] 200 [実績値] 176 達成率 88.0%	[目標値] 200 [実績値] 179 達成率 89.5%	[目標値] 200 [実績値] 238 達成率 119.0%	[目標値] 200 [実績値] 238 達成率 119.0%	受胎卵移植により受胎した頭数 (単位:頭) [実績値] 71 達成率 71.0%	[目標値] 100 [実績値] 71 達成率 71.0%	[目標値] 100 [実績値] 74 達成率 74.0%	[目標値] 100 [実績値] 90 達成率 90.0%	[目標値] 100 [実績値] 90 達成率 90.0%	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 受胎卵の移植については無料であるが、受益者負担の観点から、受胎が成功した場合は費用負担をさせることなどを検討するべきである。	
14	助成・育成	農林漁業金融事業	経済局 農政総務課	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】農林漁業者が経営基盤の安定等のため、農協等から融資を受けた農林漁業振興資金に対する利子補給の実施 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・農業近代化資金・農業振興資金への利子補給 ・市単独農林漁業振興資金への利子補給	県補助	[概算コスト] 4,727 (内訳) ・決算額 4,302 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 4,295 (内訳) ・決算額 3,870 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 3,910 (内訳) ・決算額 3,475 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 4,091 (内訳) ・決算額 3,662 ・人件費 429 (0.10人)	事業推進説明会等 (単位:回)	[目標値] 10 [実績値] 10 達成率 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 達成率 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 11 達成率 110.0%	[目標値] 10 [実績値] 11 達成率 110.0%	新規借入件数 (単位:件) [実績値] 3 達成率 33.3%	[目標値] 3 [実績値] 1 達成率 33.3%	[目標値] 3 [実績値] 11 達成率 366.7%	[目標値] 3 [実績値] 1 達成率 33.3%	[目標値] 3 [実績値] 1 達成率 33.3%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 農林水産業者の経営の安定化・合理化を図るために必要な事業である。	

行政評価（継続事業）

第5編第4章 地域特性を生かした農林水産業を振興する

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由							
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度										19年度	20年度					
15	助成・育成	農業経営基盤強化資金事業	経済局 農政総務課	○事業開始年度 平成6年度 【概要】認定農業者が経営基盤の安定等のため、農林漁業金融公庫等から融資を受けた農業経営基盤強化資金に対する利子助成の実施 【対象者】認定農業者 【具体的な活動内容】 ・農業経営基盤強化資金に対する利子助成	県補助	[概算コスト] 4,078 (内訳) ・決算額 3,653 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 4,141 (内訳) ・決算額 3,716 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 3,593 (内訳) ・決算額 3,158 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 3,372 (内訳) ・決算額 2,943 ・人件費 429 (0.10人)	事業推進説明会等 (単位:回)	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 11 <達成率> 110.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	新規借入件数 (単位:件)	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	[目標値] 4 [実績値] 5 <達成率> 125.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 農業者の経営の安定化・合理化を図るために必要な事業である。
16	助成・育成	園芸振興事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和58年度 【概要】園芸作物の生産向上と農家経営の安定向上のために、園芸施設設置経費及び園芸資材購入経費等に対し、助成するもの 【対象者】農業者団体 【具体的な活動内容】 ・被覆施設の設置経費に対する助成 補助率1/3以内 ・点滴かん水システムの導入経費に対する助成 補助率1/3以内 ・攪拌扇の導入経費に対する助成 補助率1/3以内 ・園芸ハウス複層化資材の設置経費に対する助成 補助率1/3以内	市単	[概算コスト] 5,618 (内訳) ・決算額 5,576 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 5,469 (内訳) ・決算額 5,427 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 6,119 (内訳) ・決算額 6,075 ・人件費 44 (0.01人)	[概算コスト] 5,257 (内訳) ・決算額 5,214 ・人件費 43 (0.01人)	補助件数 (単位:件)	[目標値] 7 [実績値] 9 <達成率> 128.6%	[目標値] 8 [実績値] 11 <達成率> 137.5%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	ビニールハウスの設置面積 (単位:m)	[目標値] 3,706 [実績値] 3,744 <達成率> 101.0%	[目標値] 2,925 [実績値] 3,324 <達成率> 113.6%	[目標値] 2,660 [実績値] 1,951 <達成率> 73.3%	[目標値] 1,658 [実績値] 1,658 <達成率> 100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 園芸作物の生産性向上と農家経営の安定化を図るために必要な事業である。	
17	助成・育成	茶業振興事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成17年度 【概要】茶の生産性向上と農家経営の安定化のため、生産資機材及び流通資材等の導入経費に対し助成するもの。 【対象者】農業者団体 【具体的な活動内容】茶の晩霜被害を防止し、生産の安定を図るための防霜扇の導入経費に対する助成。 補助率1/3以内	市単	[概算コスト] 3,200 (内訳) ・決算額 3,115 ・人件費 51 (0.01人)	[概算コスト] 3,200 (内訳) ・決算額 3,185 ・人件費 51 (0.01人)	[概算コスト] 3,200 (内訳) ・決算額 3,185 ・人件費 52 (0.01人)	[概算コスト] 3,200 (内訳) ・決算額 3,200 ・人件費 52 (0.01人)	防霜扇設置面積 (単位:ha)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2.1 <達成率> 105.0%	[目標値] 2 [実績値] 1.8 <達成率> 92.2%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	荒茶市場出荷量 (単位:t)	[目標値] 500 [実績値] 597 <達成率> 119.4%	[目標値] 500 [実績値] 557 <達成率> 111.4%	[目標値] 500 [実績値] 625 <達成率> 125.0%	[目標値] 500 [実績値] 500 <達成率> 100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 茶の生産性向上と農家経営の安定化を図るために必要な事業である。		
18	助成・育成	有害鳥獣被害対策事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】有害鳥獣による農林産物の被害を防止するための電気柵の設置経費に助成するとともに、有害鳥獣捕獲を円滑に行うための被害対策を総合的に推進する。 【対象者】農業者団体、鳥獣捕獲者 【具体的な活動内容】 ・有害鳥獣による被害を防止するための電気柵の設置経費に対する助成 補助率2/3 ・有害鳥獣捕獲による捕獲報償金及び捕獲協力費の交付 ・鹿児島市有害鳥獣捕獲対策協議会への出席謝金	県補助	[概算コスト] 7,021 (内訳) ・決算額 4,474 ・人件費 2,547 (0.60人)	[概算コスト] 8,322 (内訳) ・決算額 5,775 ・人件費 2,547 (0.60人)	[概算コスト] 12,457 (内訳) ・決算額 9,847 ・人件費 2,610 (0.60人)	[概算コスト] 12,300 (内訳) ・決算額 9,724 ・人件費 2,576 (0.60人)	電気柵等の設置数 (単位:基)	[目標値] 16 [実績値] 18 <達成率> 112.5%	[目標値] 39 [実績値] 51 <達成率> 130.8%	[目標値] 118 [実績値] 157 <達成率> 133.1%	[目標値] 117 [実績値] 117 <達成率> 100.0%	イノシシによる農産物等の被害額 (単位:千円)	[目標値] 7,500 [実績値] 7,321 <達成率> 102.4%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,740 <達成率> 96.9%	[目標値] 7,500 [実績値] 6,225 <達成率> 120.5%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 有害鳥獣による農林産物の被害を防止するために必要な事業である。	
19	その他	野菜価格安定対策事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成14年度 【概要】野菜価格が著しく低落了場合に備え、生産者及び関係機関とともに資金を造成し、価格が低落了場合に価格差補給交付金を交付し、野菜生産農家の経営安定を図る。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】(社)鹿児島県青果物生産安定出荷基金協会が運営する基金の造成資金のうち、本市負担分を支出する。 ・鹿児島県野菜価格安定対策事業(市負担13%) ・特定野菜等供給地産地産価格差額補給事業(市負担2/36)	市単	[概算コスト] 822 (内訳) ・決算額 780 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 1,033 (内訳) ・決算額 991 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 44 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 44 (0.01人)	[概算コスト] 274 (内訳) ・決算額 231 ・人件費 43 (0.01人)	造成資金額 (単位:千円)	[目標値] 26,949 [実績値] 26,949 <達成率> 100.0%	[目標値] 31,440 [実績値] 31,440 <達成率> 100.0%	[目標値] 29,250 [実績値] 29,250 <達成率> 100.0%	[目標値] 26,410 [実績値] 26,410 <達成率> 100.0%	野菜価格低落了時における農家経営の安定	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 農家経営の安定化を図るために必要な事業である。		
20	市民サービス	農林水産物地産地消推進事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成19年度 【概要】豊富な市内産の特産農林水産物を広く市民に紹介するため、試食宣伝販売により旬の味を市民に提供するとともに、産地での収穫体験・交流会及び旬の野菜クッキング教室を開催し、本市特産農林水産物の消費拡大を図る。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】鹿児島市農産物等流通促進協議会(市が事務局)に対する負担金の支出。 ・特産農産物旬のキャンペーン(年4回開催) ・食の産地交流会(年3回開催) ・旬の野菜クッキング教室(年4回開催)	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 3,852 (内訳) ・決算額 1,764 ・人件費 1,764 (0.48人)	[概算コスト] 3,825 (内訳) ・決算額 1,764 ・人件費 2,061 (0.48人)	旬のキャンペーン、産地交流会、クッキング教室の開催回数 (単位:回)	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	延べ参加者数 (単位:人)	[目標値] 2,187 [実績値] 2,182 <達成率> 99.8%	[目標値] 2,187 [実績値] 2,182 <達成率> 99.8%	[目標値] 2,235 [実績値] 2,235 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,235 [実績値] 2,235 <達成率> 100.0%	○	○	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 産地PRや食の安全への取組、食材の特性や料理方法等の紹介を通して地産地消を推進するために必要な事業である。		
21	助成・育成	鹿児島地域農産加工ネットワーク支援事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成19年度 【概要】市内の農産加工グループで構成されている鹿児島地域農産加工ネットワークへの活動支援により、地域農産物を使った加工品の充実、また、販売促進を図り、農産物のPR及び消費拡大につなげる。 【対象者】鹿児島地域農産加工ネットワーク 【具体的な活動内容】鹿児島地域農産加工ネットワークへの活動助成 補助額300千円	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 1,910 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 1,610 (0.37人)	[概算コスト] 1,889 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 1,589 (0.37人)	研修会回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	研修会参加人員 (単位:人)	[目標値] 50 [実績値] 56 <達成率> 112.0%	[目標値] 50 [実績値] 56 <達成率> 112.0%	[目標値] 50 [実績値] 50 <達成率> 100.0%	[目標値] 50 [実績値] 50 <達成率> 100.0%	○	○	○	○	△	○	○	◎	△	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 活動支援により、ネットワークでの情報交換・研修等を行うことで農産物のPR及び消費拡大が図られるため必要な事業である。		

行政評価（継続事業）

第5編第4章 地域特性を生かした農林水産業を振興する

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由							
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度									19年度	20年度					
22	助成・育成	特産農産物育成事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成17年度 【概要】市内特産物であるニガウリ、桜島大根、桜島小ミカン等の生産振興を図るため、生産資材等への助成を行う。 【対象者】農業者団体 【具体的な活動内容】 ・ニガウリ、ナスの優良種苗の導入経費に対する助成 ・かごしま早生及び不知火の苗木導入経費に対する助成 ・桜島大根の栽培資材購入経費に対する助成 ・地域奨励作物の栽培資材(小型トンネル資材)の導入経費に対する助成 いずれも補助率1/3以内	市単	[概算コスト] 3,773 (内訳) ・決算額 3,688 ・人件費 85 (0.02人)	[概算コスト] 6,048 (内訳) ・決算額 5,963 ・人件費 85 (0.02人)	[概算コスト] 6,055 (内訳) ・決算額 5,968 ・人件費 87 (0.02人)	[概算コスト] 7,547 (内訳) ・決算額 7,461 ・人件費 86 (0.02人)	補助件数 (単位:件) 7 11 157.1%	[目標値] 7 11 157.1%	[目標値] 10 10 100.0%	[目標値] 8 12 150.0%	[目標値] 9 12 150.0%	特産物の栽培面積 (単位:ha) 14 20 142.9%	[目標値] 14 20 142.9%	[目標値] 33 21 62.1%	[目標値] 14 12 86.1%	[目標値] 21 12 86.1%	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 地域の特性を活かした園芸作物の産地育成及び拡大定着を図るために必要な事業である。
23	助成・育成	特産農産物育成事業(特産農産物販売促進事業・県外キャンペーン推進事業)	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成18年度 【概要】市内農産物の消費拡大を促進し、都市近郊園芸の健全な発展に寄与する。 【対象者】生産者団体 【具体的な活動内容】 ・販売促進活動助成 補助率1/3以内 ・桜島ブランド総合販売促進協議会への負担金の支出 ・新規品目の流通対策 ・桜島大根フェア実行委員会に対する助成 200千円 ・県外で行う県・市主催の物産展における出品用農林水産物の買い上げ、旅費に対する助成 補助率2/3	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 0 (0.10人)	[概算コスト] 1,923 (内訳) ・決算額 1,498 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 4,378 (内訳) ・決算額 3,943 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 5,485 (内訳) ・決算額 5,056 ・人件費 429 (0.10人)	特産農産物県外販売促進活動・県外キャンペーン実施回数 (単位:回) 5 7 100.0%	[目標値] 5 7 100.0%	[目標値] 5 7 87.5%	[目標値] 8 7 87.5%	[目標値] 7 7 87.5%	参加者数 (単位:人) 800 900 112.5%	[目標値] 800 900 112.5%	[目標値] 1,000 1,180 118.0%	[目標値] 1,000 1,180 118.0%	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 特産農産物の県外へのPR及び消費拡大を図るために必要な事業である。		
24	イベント	畜産品評会	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和50年度 【概要】畜産品評会を開催して、家畜の体型や資質について、改良意欲の向上を図る。 【対象者】畜産業者 【具体的な活動内容】 ・市品評会の開催(春季・秋季) ・市枝肉品評会の開催(京都2回、鹿屋、知覧)	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 3,145 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 3,248 (内訳) ・決算額 2,696 ・人件費 552 (0.13人)	[概算コスト] 2,701 (内訳) ・決算額 2,135 ・人件費 566 (0.13人)	[概算コスト] 3,682 (内訳) ・決算額 3,124 ・人件費 558 (0.13人)	家畜品評会開催回数 (単位:回) 13 13 100.0%	[目標値] 13 13 100.0%	[目標値] 11 11 100.0%	[目標値] 6 6 100.0%	[目標値] 6 6 100.0%	出品頭数 (単位:頭) 330 321 97.3%	[目標値] 330 321 97.3%	[目標値] 330 280 84.8%	[目標値] 330 250 75.8%	△	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 家畜の比較検討の場を設けることで、研修、意見交換、技術交流等が行われ、畜産振興に寄与していることから必要な事業である。		
25	助成・育成	黒牛・黒豚資質改善事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成17年度 【概要】産肉能力に優れた肥育及び種豚を市内に確保することにより、市内の黒牛・黒豚の生産性の向上と生産費の軽減を図り、畜産経営の安定に資する。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・市内の優秀な雌牛から生まれた子牛の導入に対する助成 補助率 肥育素牛15%、生産素牛20% ・肥育素牛、生産素牛、種豚の導入に対し、資金の貸付を行う。	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 33,860 ・人件費 3,311 (0.78人)	[概算コスト] 38,838 (内訳) ・決算額 35,527 ・人件費 3,311 (0.78人)	[概算コスト] 34,137 (内訳) ・決算額 30,744 ・人件費 3,393 (0.78人)	[概算コスト] 34,149 (内訳) ・決算額 30,800 ・人件費 3,349 (0.78人)	優良肉用牛・豚の素畜導入頭数 (単位:頭) 257 229 89.1%	[目標値] 257 229 89.1%	[目標値] 254 228 89.8%	[目標値] 208 186 89.4%	[目標値] 208 186 89.4%	優良家畜導入による資質の改善 (単位:頭) 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	△	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市内の黒牛・黒豚の生産性向上と畜産経営の安定化を図るために必要な事業である。		
26	助成・育成	家畜防疫対策事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和43年度 【概要】家畜、家きんの伝染病による畜産農家の経済損失の防止及び人畜共通伝染病等の未然防止により、畜産経営の安定を図る。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・家畜伝染病予防注射への助成 補助率1/2(一部1/5)以内 ・鳥インフルエンザ等対策資材(消毒液、防護服等)の購入及び備蓄	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 5,941 ・人件費 3,311 (0.78人)	[概算コスト] 8,921 (内訳) ・決算額 5,610 ・人件費 3,311 (0.78人)	[概算コスト] 8,634 (内訳) ・決算額 5,241 ・人件費 3,393 (0.78人)	[概算コスト] 8,756 (内訳) ・決算額 5,407 ・人件費 3,349 (0.78人)	投薬注射頭数(牛・豚) (単位:頭) 7,320 6,669 91.1%	[目標値] 7,320 6,669 91.1%	[目標値] 6,335 6,950 109.7%	[目標値] 6,405 6,006 93.8%	[目標値] 7,135 6,006 84.3%	家畜伝染病及び人畜共通伝染病の防疫率 (単位:%) 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	△	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 伝染病の発生と蔓延を防止し、畜産経営の安定化と食の安全の確保を図るために必要な事業である。		
27	調査・研究	畜産総合対策事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】畜産技術や畜産経営に関する情報を収集し、これらの活用により経営合理化や低コスト生産等を推進することにより、畜産経営の安定化を図る。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・飼養実態調査の実施 ・繁殖カレンダー等の作成 ・農家への実地指導	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 452 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 1,299 (内訳) ・決算額 450 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 1,149 (内訳) ・決算額 279 ・人件費 870 (0.20人)	[概算コスト] 1,141 (内訳) ・決算額 282 ・人件費 859 (0.20人)	飼養実態調査戸数 (単位:戸) 550 520 94.5%	[目標値] 550 520 94.5%	[目標値] 530 498 94.0%	[目標値] 510 485 95.1%	[目標値] 490 485 99.0%	畜産振興のための基礎資料の整備 (単位:戸) 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	[目標値] 100 100 100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 本市畜産行政を推進していくための最も基本的な事業であることから、継続する必要がある。		
28	助成・育成	環境保全型農業推進事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】防除薬剤の使用低減に努め、環境への負荷の軽減及び持続的な農業生産を推進し、安全で良質な農産物の安定供給に努める。 【対象者】農業者団体 【具体的な活動内容】防除薬剤の使用軽減に努め環境に配慮した農業を進めるため、防除資材の購入経費に対して助成する。 ・近紫外線カットフィルム、防虫資材、微生物農薬等の導入 ・紫外線カットタイプ長期展張型被覆資材への張替え 補助率はいずれも1/3以内	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 17,739 ・人件費 1,274 (0.30人)	[概算コスト] 9,386 (内訳) ・決算額 8,112 ・人件費 1,274 (0.30人)	[概算コスト] 8,326 (内訳) ・決算額 7,021 ・人件費 1,305 (0.30人)	[概算コスト] 12,230 (内訳) ・決算額 10,942 ・人件費 1,288 (0.30人)	補助件数 (単位:件) 14 17 121.4%	[目標値] 14 17 121.4%	[目標値] 17 23 135.3%	[目標値] 15 18 120.0%	[目標値] 19 18 94.7%	実施面積 (単位:m) 369,441 462,178 125.1%	[目標値] 369,441 462,178 125.1%	[目標値] 480,844 445,911 92.7%	[目標値] 414,062 449,152 108.5%	[目標値] 448,446 449,152 100.1%	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 環境への負荷の軽減に配慮した持続的な農業生産を推進するために必要な事業である。	

行政評価（継続事業）

第5編第4章 地域特性を生かした農林水産業を振興する

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由						
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度										19年度	20年度				
29	助成・育成	環境保全型畜産推進事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 平成3年度 【概要】畜産に起因する環境問題に対処し、都市近郊における畜産経営安定のため、畜産農家が家畜ふん尿処理施設等環境整備を行う際、助成するとともに、旧桜島町が実施していた畜産環境リース事業の実施者に対する助成を引き継いだもの。 【対象者】畜産業者(鹿児島市畜産連絡協議会) 【具体的な活動内容】 ・家畜ふん尿処理施設等環境整備にかかる経費に対する助成 補助率2/3以内 ・畜産環境整備リース事業を実施する畜産農家に対しリース料の1/2を助成	市単	[概算コスト] 11,548 (内訳) ・決算額 10,444 ・人件費 1,104 (0.26人)	[概算コスト] 12,602 (内訳) ・決算額 11,498 ・人件費 1,104 (0.26人)	[概算コスト] 10,964 (内訳) ・決算額 9,833 ・人件費 1,131 (0.26人)	[概算コスト] 14,606 (内訳) ・予算額 13,490 ・人件費 1,116 (0.26人)	家畜ふん尿処理施設の整備件数 (単位:箇所)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 2 <達成率> 69.1%	事業によるたい肥処理量 (単位:t)	[目標値] 5,400 [実績値] 3,730 <達成率> 69.1%	[目標値] 5,400 [実績値] 3,871 <達成率> 71.7%	[目標値] 5,400 [実績値] 4,067 <達成率> 75.3%	[目標値] 5,400 [実績値] 5,400 <達成率> 100.0%	△	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 畜産に起因する環境問題に対処し、都市近郊における畜産経営の安定化を図るために必要な事業である。
30	助成・育成	降灰地域防災畜産対策事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】降灰による農作物等の被害を防止するための被覆施設や経耐灰性作物を導入するとともに、飼料生産調整機械等の整備による粗飼料の確保等により農家の経営安定化を図る。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・被覆施設整備に対する助成 補助率 県70～75%、市15% ・びわの病害虫防除薬剤や被覆資材、耐灰性作物栽培に必要な資材の購入経費、桜島地域における被覆施設等の整備に対する助成 補助率1/2～2/3 ・畜産施設、飼料作物調整機械の整備に対する助成 1/2～3/4	県補助	[概算コスト] 358,503 (内訳) ・決算額 357,272 ・人件費 1,231 (0.29人)	[概算コスト] 294,395 (内訳) ・決算額 293,164 ・人件費 1,231 (0.29人)	[概算コスト] 326,432 (内訳) ・決算額 325,170 ・人件費 1,262 (0.29人)	[概算コスト] 64,800 (内訳) ・予算額 63,555 ・人件費 1,245 (0.29人)	事業導入件数 (単位:件)	[目標値] 14 [実績値] 17 <達成率> 121.4%	[目標値] 13 [実績値] 17 <達成率> 130.8%	[目標値] 13 [実績値] 20 <達成率> 153.8%	[目標値] 12 [実績値] 20 <達成率> 166.7%	降灰被害額 (単位:千円)	[目標値] 556,622 [実績値] 448,375 <達成率> 124.1%	[目標値] 448,375 [実績値] 445,783 <達成率> 100.6%	[目標値] 445,783 [実績値] 443,793 <達成率> 100.4%	[目標値] 443,793 [実績値] 443,793 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 降灰による農作物等への被害を防止し、降灰や火山ガス被害に対応できる営農体系を確立するために必要な事業である。
31	助成・育成	各種団体負担金事業(農政関係分)	経済局 農政総務課	○事業開始年度 昭和37年度 【概要】農政関係各種団体への負担金 【対象者】農政関係各種団体 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市担い手育成総合支援協議会、鹿児島市郡農政推進会議、鹿児島県農林統計協会への負担金支出 ・関係機関・団体との検討・協議 ・先進地調査の実施	市単	[概算コスト] 1,608 (内訳) ・決算額 1,183 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 1,741 (内訳) ・決算額 1,316 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 1,211 (内訳) ・決算額 776 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 1,106 (内訳) ・予算額 677 ・人件費 429 (0.10人)	負担金を支出する団体数 (単位:団体)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	各種団体の円滑な運営	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 本市と関係機関・団体との連携を深め、農業振興施策を推進していくために必要な事業である。	
32	助成・育成	各種団体負担金(畜産関係分)	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】関係市町・農協等と連携し、本市農業振興を図るための団体に対する事業推進のための負担金 【対象者】農業関係各種団体 【具体的な活動内容】 ・鹿児島県農業経営構造対策協議会、鹿児島県農業機械連絡協議会、鹿児島県農業改良普及事業推進協議会、九州茶主要産地市町村協議会、鹿児島市茶たばこ生産指導班、鹿児島県園芸振興協議会、鹿児島市園芸作物振興協議会、鹿児島県桜島防災農政推進協議会への負担金支出	市単	[概算コスト] 1,780 (内訳) ・決算額 1,271 ・人件費 509 (0.12人)	[概算コスト] 1,757 (内訳) ・決算額 1,163 ・人件費 594 (0.14人)	[概算コスト] 2,103 (内訳) ・決算額 1,276 ・人件費 827 (0.19人)	[概算コスト] 2,031 (内訳) ・予算額 1,215 ・人件費 816 (0.19人)	負担金を支出する団体数 (単位:団体)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	各種団体の円滑な運営	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 本市と関係機関・団体との連携を深め、農業振興施策を推進していくために必要な事業である。
33	助成・育成	各種団体負担金(畜産関係分)	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和37年度 【概要】本市畜産の発展に資するため、関係機関、団体と連携を図り、それぞれの目的を持った畜産関係団体に対する負担金を支出する。 【対象者】畜産関係各種団体 【具体的な活動内容】各種畜産団体に対する負担金の支出。 ・県肉用牛振興協議会(40,000円→18年度30,000円→19年度以降20,000円) ・(社)県畜産協会(190,000円→18年度以降140,000円) ・酪農ヘルパー利用組合(南薩、日置2地域)227,000円→18年度以降畜産団体育成へ予算組替え	市単	[概算コスト] 754 (内訳) ・決算額 457 ・人件費 297 (0.07人)	[概算コスト] 467 (内訳) ・決算額 170 ・人件費 297 (0.07人)	[概算コスト] 465 (内訳) ・決算額 160 ・人件費 305 (0.07人)	[概算コスト] 461 (内訳) ・予算額 160 ・人件費 301 (0.07人)	負担金を支出する団体数 (単位:団体)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	各種団体の円滑な運営	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 本市と関係機関・団体との連携を深め、農業振興施策を推進していくために必要な事業である。
34	施設維持・管理	公有林経営整備事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和42年度 【概要】市有林、分取林の合理的かつ適正な管理作業を実施し、造林木の成長促進及び収益性の高い造林を図るとともに、森林のもつ公益的機能の確保を図るため、造林木の保育を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・市有林、分取林の保育作業を行う。	市単	[概算コスト] 4,524 (内訳) ・決算額 4,099 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 4,620 (内訳) ・決算額 4,195 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 7,208 (内訳) ・決算額 6,773 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 5,156 (内訳) ・予算額 4,727 ・人件費 429 (0.10人)	整備実施地域 (単位:地域)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	保育作業面積 (単位:ha)	[目標値] 24.44 [実績値] 24.72 <達成率> 101.1%	[目標値] 26.46 [実績値] 24.42 <達成率> 92.3%	[目標値] 40.06 [実績値] 39.95 <達成率> 99.7%	[目標値] 27.11 [実績値] 27.11 <達成率> 100.0%	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 木材の生産機能及び森林のもつ公益的機能を発揮させるために必要な事業である。
35	助成・育成	森林資源整備事業	経済局 生産流通課	○事業開始年度 昭和49年度 【概要】森林の持つ木材生産をはじめ、国土保全、水源かん養及び保健休養など多面的機能の持続的発揮を図るため、除間伐、造林等により森林の整備を推進する。 【対象者】森林組合、森林施業計画の認定を受けた者、森林所有者の団体 【具体的な活動内容】 ・間伐の実施経費に対する助成 補助率 県68%、市12% ・森林管理道、集材路の開設経費に対する助成 補助率 県50%、市10～40% ・造林用苗木購入経費に対する助成 補助率1/2	県補助	[概算コスト] 13,403 (内訳) ・決算額 12,129 ・人件費 1,274 (0.30人)	[概算コスト] 19,505 (内訳) ・決算額 18,231 ・人件費 1,274 (0.30人)	[概算コスト] 18,605 (内訳) ・決算額 17,300 ・人件費 1,305 (0.30人)	[概算コスト] 31,396 (内訳) ・予算額 29,678 ・人件費 1,718 (0.40人)	間伐実施事業実施地域 (単位:地域)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	間伐実施事業の実施面積 (単位:ha)	[目標値] 215 [実績値] 173 <達成率> 80.7%	[目標値] 250 [実績値] 302 <達成率> 120.6%	[目標値] 335 [実績値] 245 <達成率> 73.1%	[目標値] 340 [実績値] 340 <達成率> 100.0%	△	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 民有林における森林整備を推進し、木材生産、国土保全及び水源かん養機能等の高度発揮を図るために必要な事業である。



